この度は弊社のトランシーバーDJ-G7 をお求め頂き、誠に有り難うございます。

「DJ-G7 Clone Utility」はオプションの ERW-7（USB ポート用）ケーブルとジャック変換ケーブル EDS-14（旧タイプの EDS-10 もお使いになれます）を使って DJ-G7 とパソコンを接続することでお使いになれます。

はじめに：
本プログラムはフリー・ソフトウェアであり、いかなる保証も行いません。プログラムをご利用になることで発生したハードウエア・他のソフトウェアやデータへのダメージなど弊社は一切補償致しかねますので、ご了承下さい。本プログラムの著作権はアルインコ（株）が所有しますが、商業利用を目的としない限りご自由にお使いいただけます。

主な機能：
・ボリュームやスケルチレベルなどのデフォルトやセットモードの機能設定
・メモリー周波数データの入力やバンクリンクの関連付け・初期設定のメモリーバンクのパーティションを最大 50 までに変更・編集した上記データの保存・書き換え
・他の DJ-G7 へのクローン
・任意の文字やアイコンを８文字分作成・登録

ご注意：
＊ 当ソフトは、Windows 7 と１０の 32/64bit で動作確認を行っております。共に管理者権限でインストールを行ってください。
＊ バグのご連絡は弊社電子事業部 HP のお問い合わせフォームで承りますが、操作方法についてのご連絡やお問い合せはご容赦ください。まずソフトをインストールして内容をご覧のうえ、お使い頂けそうであればケーブルをお求め下さい。

インストールとアンインストールについて：
＊ ダウンロードするファイルはインストーラー形式です。アンインストールはウインドウズのコントロールパネルの「プログラムの追加と削除」から行って下さい。
＊ 本ソフトのアップデートを行うときは、旧バージョンを必ずアンインストールしてから行ってください。
＊ ファームウエアのアップデートと異なり、もし書き込み・読み込み中にエラーやフリーズなどが発生しても、Ｇ７・ソフトとも再起動すれば初期状態に戻ります。但し保存していないデータは失われますので、特に新しく作ったデータで書き込みをする際は、常に必ずデータファイルを保存してからプログラムを操作してください。

操作方法について：
＊ プログラムを立ち上げ、電源を切った DJ-G7 に EDS-14 をしっかり装着した後、ERW-7 を EDS-14 の小さい穴の方のジャックに接続します。DJ-Ｇ７の電源を入れ、ＭＯＮＩキーを押した状態でＰＴＴキーを３回押してクローンモードにします (CLONE 57600bps が表示されます)。
＊初めてお使いの際はプログラムのツール→COM ポートの設定を行ってください。
（ウインドウズのデバイスマネージャーのプロパティで“ポート（ＣＯＭとＬＰＴ)”を参照、ＵＳＢ serial port(COM*)の番号をツールバー上の【ＣＯＭポート設定】に合わせる）

＊ ＤＪ－Ｇ７は従来の弊社製無線機に比べてクローンの対象になるメモリチャンネル部分のデータ量が格段に多いため、「全ての読み出し・書き込み」コマンドを終了するには数分の時間がかかります。今までに受信機用など別のユティリティをお使い頂いていた方にはかなり重く感じられると思いますが、異常ではありません。進行状況はプログレスバーと数値の％表示でご覧になれます。

＊ 設定の項目は無線機で出来る操作と同じです。直感的に分かる操作はここでは説明しておりません。特殊な機能は下で説明しております。

＊ 操作する Read（読み込み）/Write（書き込み）ボタンにより、全体の読み書きと部分的な 読み書きが行えます。一番時間が掛かるのがメモリチャンネルのタブのクローンです。One Channel Memory のような部分的な読み出し・書き込みやメモリー以外のタブでは通信するデータが少ないため、素早く終了しますのでせいぜいご活用下さい。

＊ [Success memory read]のような表示が出て通信が終わったら（Ｇ７側に表示の変化はありません)、DJ-G7 の電源を切ってください。ケーブルをジャックから抜いて、再度電源を入れると書き込み内容が反映されます。
＊ インポート・エクスポート機能を使うとＣＳＶを扱う作表ソフトなどでメモリーチャンネルデータの編集ができます。

【メモリータブの操作】

＊ 表の行をクリックすると詳細設定画面がポップアップします。設定が終わったらＯＫをクリックします。

＊ ＦＯＮＴをクリックすると、自分でアイコンや文字（以下これを外字と呼びます）を８つまで作れるパネルがポップアップします。□をクリックして塗りつぶすことで文字や絵

を 作り、左端のセレクトボックスで何番に登録するか選択します。

【BANK タブの操作】

＊スライドバーを動かすと、そのバンクに割り当てるメモリチャンネルの数が変化します。右下の「Total」と書かれたボックスが赤の数字表示では設定できません。必ず黒文字で「Total 1000」になるようにしてください。

＊チャンネルが割り当てられていないバンク番号（空のバンク）は、メモリーモードで運用中は DJ-G7 のディスプレイには表示されません。書き込み操作をすると見えるようになります。

＊ BANK-LINK ボタンをクリックすると説明書Ｐ．８８にあるバンクリンク設定ができます。

【ＣＯＭＭＯＮ ＳＥＴタブの操作】

＊Title Name は電源投入時のウエルカム画面に表示させる文字が編集できます。ここではＧ７が持つフォントでないと入力した文字は受け付けません。漢字フォントが無ければ、メモリータブの FONT 機能で作成した外字をお使いください。外字を表示させるには①、②のように丸数字で入力します。
（例：山田太郎の郎を４に外字登録した場合、山田太④と入力）
ここに何も書かないと、デフォルトのアニメーション画面が表示されます。このウエルカム画面は、電源をＯＮにしてからＣＰＵが動作状態になるまでの数秒間、「起動中、お待ち下さい」という意味です。スイッチが入ったかどうか判りづらくなることから、「何も表示させない」というパラメータは設けておりません。

トラブルシュート：
上手く動かない場合のほとんどはｃｏｍポートの設定が出来ていないか、ケーブルを抜き差ししたことでポート番号が変わっているケースです。ウインドウズ＞コントロールパネル＞デバイスマネージャーでポート（ＣＯＭとＬＰＴ）のプロパティに表示されるＵＳＢ ＳＥＲＩＡＬ ＰＯＲ Ｔ（ＣＯＭ*）の番号をソフトのＣＯＭポート設定に合わせてください。他にＥＤＳ－１４ケーブルのねじ込み不足、クローンモードへの入り忘れ、ＥＲＷ－７ドライバーの入れ忘れやアップデート忘れ、プラグを３．５ｍｍ側に挿している、などが多いようです。
途中で読み込み・書き込み動作がフリーズする場合、CLONE 57600bps 表示中に MONI

キーを押しながらダイヤルを回して数字を小さくしてみてください。時間が多めに掛かるようになりますがパフォーマンスが改善することがあります。プログラムがセッションの途中でフリーズしても無線機にはダメージはありません。強制終了して再度開き、無線機はクローンモードに入り直すだけで改めて操作ができます。

当ソフトは、DJ-G7 をより快適にお使い頂くためにご提供させて頂いておりますが、あくまで無償のオプションであり、製品のように弊社が責任を持ってメンテナンスやサポートを行う対象のものではありません。　弊社では、お客様のご依頼のデータを編集・書き込みすることは有償サービスとしても一切行っておりません。

以上

アルインコ（株）電子事業部